

令和3年度

事業報告書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

I 事業の概要

1 農作物共済

(1) 水 稲

引受面積は、一筆方式2,110ha、半相殺方式2,213ha、全相殺方式55ha、地域インデックス方式11,504ha、品質方式3ha、合計15,885ha（前年対比87.7%）、共済金額は11,644,829千余円（前年対比113.0%）となった。また、収入保険加入者は823戸、6,580haであった。

作柄は、早期栽培は、分けつが多少遅れたものの生育は回復し、高温障害米の発生はなく、収量も平年を上回った。早植栽培は6月下旬から7月上旬にかけての多雨によりいもち病が散見されたものの全般的に収量は平年より多い傾向であった。また、普通栽培以降は早植栽培同様いもち病が散見され、8月中旬及び9月上旬の低温寡照によりいもち病の助長、出穂や成熟のばらつきにより整粒歩合が平年より低くなり、全体的な収量は平年並みとなったものの田植期が遅くなるにつれ減少傾向となった。

被害については、6月下旬から7月上旬にかけての多雨、8月中旬及び9月上旬の低温寡照によりいもち病や出穂、成熟のばらつきが発生し減収となった。

その他スクミリンゴガイによる食害、山間部においては鳥獣害により被害を受け減収となった。

支払共済金は一筆方式5,337千余円、半相殺方式3,762千余円、全相殺方式2,691千余円、地域インデックス方式（一筆全損・一筆半損被害）4,272千余円、品質方式275千余円、合計16,337千余円となった。

(2) 陸 稲

陸稲の引受はなかった。

(3) 麦

令和4年産の引受面積は、半相殺方式428ha、全相殺方式63ha、地域インデックス方式1,588ha、災害収入共済方式867ha、合計2,946ha（前年対比85.0%）、共済金額は879,121千余円（前年対比106.7%）となった。また、収入保険加入者は259戸、2,271haであった。

作柄は、播種は順調に進んだものの11月から12月の降水量が平年の5%未満となり、11月下旬播き以降は乾燥により発芽、生育の遅延、出穂のばらつきがあった。1月中旬の低温により生育は遅れ気味に推移し、その後の降雨、高温により、2月から3月は回復傾向となったが、出穂のばらつきのあった一部のほ場は回復せず生育ムラがみられた。また出穂以降は順調に生育し、4月から5月にかけて高温少雨により一部遅れ穂が見られたものの、6月に入って降雨が少なかったため、例年に比べて収穫作業は順調に進み平年並みとなった。

被害については、11月下旬播き以降の一部ほ場で干害による発芽不良や出穂のばらつき及び生育の遅延が発生し、4月から5月にかけての高温少雨により、遅発茎が多発し無効穂となったことで減収となった。

一筆方式の支払共済金は4,453千余円、災害収入共済方式5,067千余円、合計で9,520千余円となった。

2 家畜共済

引受戸数は、死亡廃用は延 427 戸、疾病傷害は延 261 戸、合計 688 戸（前年対比 98.0%）、共済金額は 5,680,487 千余円（前年対比 243.6%）となった。

共済金額増加の理由としては、特定疾病が対象となる事故除外方式の賦課金率新設により、肉牛肥育農家の引受が増加したことがあげられる。

共済事故は、死廃共済金110,198千余円（前年対比92.6%）病傷共済金105,633千余円（前年対比97.0%）支払となった。死廃事故は、近年増加傾向にある牛伝染性リンパ腫（牛白血病）が14頭あった。病傷事故に関しては、例年に変わらず生殖器病（繁殖関係）が全体の4割弱で、続いて泌乳器病（乳房炎）、消化器病の順であった。

3 果樹共済

(1) なし

令和4年産引受面積は、樹園地単位減収総合方式が廃止となり、半相殺減収総合方式48ha（前年対比89.5%）、共済金額は267,708千余円（前年対比95.6%）となった。また、収入保険加入者は58戸、36haであった。

令和3年産被害は、4月上旬の受粉期において低温が続いたため、寒害による結実不良及び生育不良が発生した。また梅雨期の降雨により黒星病の発生や梅雨明け後の高温による日焼け果が発生した他、虫害（シンクイムシ、カメムシ）、や鳥害（カラス）が発生し減収となった。

支払共済金は、半相殺減収総合方式2,860千余円、樹園地単位減収総合方式1,278千余円、合計4,138千余円となった。

(2) ぶどう

令和3年産引受面積は、半相殺減収総合方式6.1ha、半相殺特定危険方式2.0ha、樹園地単位減収総合方式0.5ha、合計8.6ha（前年対比86.0%）、共済金額は65,090千円（前年対比90.8%）となった。また、収入保険加入者は39戸、18haであった。

被害は、局所的な降雹による被害があり、梅雨期においては、べと病や晩腐病の発生、また、梅雨明け後の高温による萎縮果、収穫期においてはアライグマによる食害や8月中旬の多雨で雨害湿潤害による裂果が発生し減収となった。

支払共済金は、半相殺減収総合方式5,850千余円、半相殺特定危険方式（ひょう害）1,592千余円、樹園地単位減収総合方式は無被害で合計7,442千余円となった。

4 畑作物共済

(1) 大豆

引受面積は、一筆方式52ha、全相殺方式138ha、合計190ha（前年対比111.2%）、共済金額は26,541千余円（前年対比112.5%）となった。また、収入保険加入者は50戸、283haであった。

被害は、梅雨期の降雨による発芽不良及び生育不良、また、ハスモンヨトウ等による葉の食害（虫害）により減収した。

支払共済金は、一筆方式192千余円、全相殺方式1,938千余円、合計2,130千余円となった。

(2) 茶

令和4年産引受面積は、半相殺方式8ha（前年対比91.1%）、共済金額は5,519千余円（前年対比84.4%）となった。また、収入保険加入者は38戸、126haであった。

令和3年産被害は、4月27日に降霜（飯能市）があり、新芽に被害を受けて減収となった。

支払共済金は180千余円となった。

(3) スイートコーン

引受面積は全相殺方式6ha(前年対比82.3%)、共済金額は9,385千余円(前年対比85.6%)となった。また、収入保険加入者は64戸、131haであった。

被害については、収穫期においてアライグマの食害により減収となった。6月16日には突発的な強風と降雨によって倒伏し減収となった。

支払共済金は45千余円となった。

(4) 蚕 繭

引受箱数は、42.10箱(前年対比66.9%)、共済金額は2,650千余円(前年対比67.8%)となった。

被害はなかった。

5 園芸施設共済

引受戸数は、延3,306戸(前年対比99.1%)、引受棟数は8,560棟(前年対比95.8%)、共済金額は173億6,700万余円(前年対比113.6%)で、前年度との比較では、戸数、棟数ともに減少、共済金額については標準価額の見直し等により増加となった。

被害は、自然災害等では風害、水害106棟、落雷20棟、ひょう害14棟、冷害2棟となった。また、自然災害等以外では施設内農作物の病虫害13棟、火災4棟、鳥獣害1棟、車両の衝突1棟であった。

被害棟数の合計は161棟(前年対比88.0%)で、支払共済金は16,839千余円(前年対比73.3%)となった。

6 任意共済

建物共済は、近年の自然災害を鑑み総合共済の補償拡充を活かした提案型の加入推進を図った結果、引受共済金額1兆3,129億余円(前年対比97.3%)となった。その内訳は、火災共済が1兆2,402億余円(前年対比97.0%)、総合共済が726億余円(前年対比103.4%)の成績となった。

農機具共済は、機種ごとの新調達価額に見合った共済金額の増額加入やトラクター等の盗難に備えた加入推進に努めた結果、農機具損害共済の引受共済金額は248億余円(前年対比105.8%)、農機具更新共済の年度末の共済金額及び減価共済金額は、それぞれ9,135万円(前年対比75.2%)、6,795万円(前年対比74.8%)となった。

保管中農産物補償共済は、洪水や浸水が想定される地域を推進した結果、引受共済金額は、9,000千円(前年対比90.0%)となった。

事故は、建物共済では、落雷や強風などにより事故棟数436棟、支払共済金5億8,981万余円(前年対比286.9%)となり、前年度に比べ増加した。農機具損害共済は、農作業中の接触、異物の巻き込みなどにより、事故台数202台、支払共済金71,126千余円(前年対比81.4%)となり、前年度に比べ減少した。農機具更新共済では、接触等により事故台数2台、支払共済金315千余円(前年対比46.1%)、期間満了台数17台、農機具減価共済金22,950千円(前年対比55.4%)となった。保管中農産物補償共済は、被害がなかった。

7 農業経営収入保険

埼玉県収入保険推進協議会との一体的な加入促進の取組みにより、関係機関及び関係団体と連携を図り、多様な農業者へ広く制度の普及や周知に努め、1,562経営体(前年対比150.3%)、補償額は20,220,118千余円(前年対比123.7%)と加入増加に結び付けた。

支払補てん金は263経営体で820,887千余円となり、つなぎ融資(無利子)については47経営体で236,360千余円の利用があった。収入減少の主な要因については、コロナ禍による需要減少等による価格低下、4月の低温、7月の長雨や8月の高温による品質低下等の影響を受けたものと考えられる。

II 事業の実績

1 農作物共済関係

(1) 引受

年度	共済目的		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
			人	a	円	円	円	円
3年	水稲	一筆方式	1,614	210,977	1,013,797,374	262,706		
		半相殺方式	2,106	221,340	957,027,863	391,312		
		全相殺方式	94	5,454	36,562,962	39,966		
		地域インデックス方式	12,178	1,150,380	9,635,010,188	9,480,779		
		品質方式	4	309	2,431,164	1,531		
		計(実)	15,996 (15,277)	1,588,460	11,644,829,551	10,176,294		
陸稲								
2年	麦 (3年産)	一筆方式	227	303,933	653,920,646	11,084,469		
		災害収入共済方式	111	42,531	170,209,764	6,322,585		
		計(実)	338 (334)	346,464	824,130,410	17,407,054		
合計			延実 16,334 15,611	1,934,924	12,468,959,961	27,583,348	13,730,471	41,313,819
3年	麦 (4年産)	半相殺方式	34	42,864	137,974,846	1,109,216		
		全相殺方式	7	6,280	29,426,570	292,055		
		地域インデックス方式	51	158,805	410,751,320	7,240,300		
		災害収入共済方式	190	86,657	300,968,790	5,819,366		
		計(実)	282 (278)	294,606	879,121,526	14,460,937		

(引受概要)

水稲の引受面積は、一筆方式2,110ha、半相殺方式2,213ha、全相殺方式55ha、地域インデックス方式11,504ha、品質方式3ha、合計15,885ha(前年対比87.7%)、共済金額11,644,829千余円(前年対比113.0%)となった。一筆方式10a当たりの共済金額は48,053円、同農家負担共済掛金12円、半相殺方式10a当たりの共済金額は43,238円、同農家負担共済掛金18円、全相殺方式10a当たりの共済金額は67,039円、同農家負担共済掛金73円、地域インデックス方式10a当たりの共済金額は83,755円、同農家負担共済掛金82円、品質方式10a当たりの共済金額は78,678円、同農家負担共済掛金50円となった。

陸稲は引受がなかった。

麦の引受面積(令和4年産)は、半相殺方式428ha、全相殺方式63ha、地域インデックス方式1,588ha、災害収入共済方式867ha、合計2,946ha(前年対比85.0%)、共済金額879,121千余円(前年対比106.7%)となった。半相殺方式10a当たりの共済金額は32,189円、同農家負担共済掛金259円、全相殺方式10a当たりの共済金額は46,858円、同農家負担共済掛金465円、地域インデックス方式10a当たりの共済金額は25,865円、同農家負担共済掛金456円、災害収入共済方式10a当たりの共済金額は34,731円、同農家負担共済掛金672円となった。

(2) 被害

共済目的		被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
		人	円	%
水稲	一筆方式	60	5,337,445	0.5
	半相殺方式	61	3,762,816	0.4
	全相殺方式	42	2,691,811	7.4
	地域インデックス方式	71	4,272,748	0.04
	品質方式	2	275,179	11.3
	計	236	16,339,999	0.1
陸稲				
麦	一筆方式	57	4,453,858	0.7
	災害収入共済方式	31	5,067,135	3.0
	計	88	9,520,993	1.2
合計		324	25,860,992	0.2

(被害概要)

水稲は、6月下旬から7月上旬にかけての多雨、8月中旬及び9月上旬の低温寡照によりいもち病や出穂、成熟にばらつきが発生し減収となった。

その他スクミリンゴガイによる食害や山間部に於いて鳥獣害により被害を受けた。

麦は、11月から12月にかけての降水量が平年の5%未満となり、11月下旬播き以降の一部ほ場で干害による発芽不良や出芽のばらつきが発生した。また、4月から5月には高温少雨となり、遅発茎が発生し、無効穂が多発したことにより減収となった。

(3) 支払

共済目的		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金	
				保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他		
水稲	一筆方式	12月22日	円 5,337,445	円 /	円 /	円 /	円 /	円 /	%	
	半相殺方式	12月22日	3,762,816							100.0
	全相殺方式	2月16日	2,691,811							100.0
	地域インテグレーション方式	12月22日	4,272,748							100.0
	品質方式	3月29日	275,179							100.0
	計		16,339,999							9,125,901
陸 稲										
麦	一筆方式	9月27日	4,453,858	円 /	円 /	円 /	円 /	円 /	%	
	災害取戻金方式	12月22日	5,067,135							100.0
	計		9,520,993							9,520,993
合 計			25,860,992	223,743	18,646,894	6,990,355			100.0	

(4) 損害防止

県が実施している病害虫発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、水稲種もみの温湯消毒の実施、病害虫等防除薬剤費または鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

2 家畜共済関係
(1) 引受

区分	項目	組合員数	有資格頭数	事業計画 頭数①	引受頭数②	②	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
						①				
死亡 廃用 共済	人		頭	頭	頭	%	円	円	円	円
	搾乳牛	130	6,260	5,400	5,371	99.5	909,394,758	42,618,042		
	育成乳牛	117	2,010	2,888	3,065	106.1	450,230,153	3,410,709		
	繁殖用雌牛	52	2,080	725	884	121.9	274,855,620	2,389,940		
	育成・肥育牛	123	14,960	4,389	8,270	188.4	3,876,272,138	8,457,281		
	繁殖用雌馬		5							
	育成・肥育馬		3							
	種豚	3	9,040	260	227	87.3	15,148,700	884,992		
	肉豚	2	79,400	2,000	1,452	72.6	11,840,000	1,379,500		
	種雄牛									
	種雄馬									
計	427	113,758	15,662	19,269	123.0	5,537,741,369	59,140,464	56,221,712	115,362,176	
疾病 傷害 共済	乳用牛	142	8,270	6,337	6,441	101.6	124,696,544	40,465,551		
	肉用牛	116	17,000	1,749	1,918	109.7	17,799,126	4,035,872		
	一般馬		8							
	種豚	3	9,040	200	212	106.0	250,000	6,811		
	種雄牛									
種雄馬										
計	261	34,318	8,286	8,571	103.4	142,745,670	44,508,234	44,641,355	89,149,589	
合計	688	148,076	23,948	27,840	116.3	5,680,487,039	103,648,698	100,863,067	204,511,765	

(引受概要)

新制度の説明をし、農家のニーズに合った引受方式を提案した。酪農家には胎児・子牛の品種が対象となる死廃共済と過去の治療費に見合った病傷共済加入を推進。

また、特定事故が対象となる事故除外方式の賦課金率を新設し、加入推進に努めた。

(2) 事故

区分	項目	死亡廃用共済			支払共済金 円
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	
搾乳牛	頭	210	422	632	80,104,135
育成乳牛	頭	129	12	141	8,342,012
繁殖用雌牛	頭	17	9	26	4,338,649
育成・肥育牛	頭	186	2	188	13,761,814
繁殖用雌馬					
育成・肥育馬					
種豚	頭	9	12	21	1,342,694
肉豚	頭	321		321	2,309,409
種雄牛					
種雄馬					
計		872	457	1,329	110,198,713

区分	項目	疾病傷害共済	
		件数	支払共済金 円
乳用牛	件	7,042	93,700,973
肉用牛	件	1,129	11,891,081
一般馬			
種豚	件	12	41,445
種雄牛			
種雄馬			
計		8,183	105,633,499

(被害概況)

死亡廃用事故, 疾病共済事故ともに昨年度より減少した。死廃共済金は前年比91.6%、病傷共済金は前年比97.0%であった。

(3) 損害防止

区分	実施種目	対象頭数	経費概算	摘要
特定損害防止		頭 -	円 -	
一般損害防止	予防衛生措置	10,679	1,106,150	蹄浴剤、消炎剤、動物用体温計 848,640 円 除菌剤 27,060 円 生菌製剤 230,450 円

(4) 診療所

診療所名	職員数	管内 (肉豚を除く)		診療件数			損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	診療外	一般	特損	経費概算	
家畜診療所	人 8	頭 34,318	頭 8,571	頭 2,177	頭 122	頭 2,454	頭 10,679	頭 -	円 1,106,150	

3 果樹共済関係

(1) 引受

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
			人	a	円	円	円	円
2年	なし (3年産)	半相殺減収総合短縮方式	179	4,349	231,409,000	3,963,620	△ 250,197	3,713,423
		樹園地単位減収総合短縮方式	31	996	48,661,000	462,207	42,919	505,126
		計	210	5,345	280,070,000	4,425,827	△ 207,278	4,218,549
3年	ぶどう	半相殺減収総合短縮方式	34	608	44,775,000	597,788	180,238	778,026
		半相殺特定危険(ひょう害)方式	7	204	16,775,000	51,808	37,361	89,169
		樹園地単位減収総合短縮方式	3	54	3,540,000	17,631	9,352	26,983
		計	44	866	65,090,000	667,227	226,951	894,178
		合計	254	6,211	345,160,000	5,093,054	19,673	5,112,727
3年	なし (4年産)	半相殺減収総合短縮方式	192	4,784	267,708,000	3,137,560		
		計	192	4,784	267,708,000	3,137,560	△ 199,693	2,937,867

(引受概要)

令和4年産なしの引受面積は、樹園地方式の廃止に伴い半相殺減収総合短縮方式48ha(前年対比89.5%)、共済金額267,708千円(前年対比95.6%)となり、10a当たりの共済金額は559,590円、同農家負担共済掛金は6,558円となった。

令和3年産ぶどうの引受面積は半相殺減収総合短縮方式6.1ha(前年対比121.0%)相殺特定危険方式2ha(前年対比48.6%)、樹園地減収総合短縮方式0.5ha(前年対比64.1%)、合計8.6ha(前年対比86.0%)、共済金額65,090千円(前年対比90.8%)とた。半相殺減収総合短縮方式の10a当たりの共済金額は736,431円、同農家負担共済掛金は9,832円、半相殺特定危険方式の10a当たりの共済金額は822,304円、同農家負担共済掛金は2,540円、樹園地減収総合短縮方式の10a当たりの共済金額は655,556円、同農家共済掛金は3,265円となった。

(2) 被害

果樹区分		被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
		人	円	%
なし	半相殺減収総合短縮方式	13	2,860,630	1.2
	樹園地単位減収総合短縮方式	2	1,278,120	2.6
	計	15	4,138,750	1.5
ぶどう	半相殺減収総合短縮方式	10	5,850,160	13.1
	減収ひょう害方式	1	1,592,000	9.5
	樹園地単位減収総合短縮方式	0	0	0.0
	計	11	7,442,160	11.4
合計		26	11,580,910	3.4

(被害概要)

なし：4月上旬の受粉期に低温が続き寒害による結実不良及び生育不良が発生、また梅雨期の降雨による黒星病、梅雨明け後の高温による日焼け果が発生した他、シクタイムシヤカメムシによる虫害及びカラスによる鳥害が発生し減収となった。

ぶどう：局所的なひょう害、梅雨期におけるべと病や晩腐病の発生、さらには梅雨明けの高温による萎縮果、収穫期においてはアライグマによる食害や8月中旬の多雨で雨害湿潤害により裂果が発生し減収となった。

(3) 支払

果樹区分		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金	
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金	%
			円	円	円	円	円	円	円	%
なし	半相殺減収総合短縮方式	12月17日	2,860,630		2,860,630					100.0
	樹園地単位減収総合短縮方式	12月17日	1,278,120		505,126					100.0
	計		4,138,750		3,365,756					100.0
ぶどう	半相殺減収総合短縮方式	12月17日	5,850,160		778,026					100.0
	減収ひょう害方式	12月17日	1,592,000		89,169					100.0
	樹園地単位減収総合短縮方式		0		0					
	計		7,442,160		867,195					100.0
合計			11,580,910	6,071,305	4,232,951	1,276,654				100.0

(4) 損害防止

県が実施している病害虫発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、病害虫防除等に使用した薬剤購入経費、鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

4 畑作物共済関係

(1) 引 受

年度	畑作物区分		項目	組合員数	引受面積 (共済箱数)	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金	
				人	a (箱)	円	円	円	円	
2年	茶	(3年産)	半相殺方式	17	922	6,541,340	149,551			
			災害収入共済方							
			計	17	922	6,541,340	149,551	10,998	160,549	
3年	大豆		半相殺・一筆方	6	5,212	7,175,272	167,344			
			全相殺方式	28	13,840	19,365,748	965,079			
			計	34	19,052	26,541,020	1,132,423			
	茶	(4年産)	半相殺方式	15	840	5,519,820	126,105			
			災害収入共済方							
			計	15	840	5,519,820	126,105			
	スイートコーン			8	605	9,385,831	117,117			
	蚕繭			春 蚕 繭	7	16.92	1,161,300	3,541		
				初 秋 蚕 繭	5	8.07	490,000	5,410		
				晩 秋 蚕 繭	6	17.11	999,600	7,196		
				計	18	42.10	2,650,900	16,147		
合計			延実	75						
			64	20,497 (42.1)	44,097,571	1,391,792	325,571	1,717,363		

(引受概要)

大豆：引受戸数34戸、引受面積前年対比111.2%、一筆方式10a当たりの共済金額は13,767円、同農家負担共済掛金は321円、全相殺方式10a当たりの共済金額は13,993円、同農家負担共済掛金は697円となった。

茶：引受戸数15戸、引受面積前年対比91.1%、10a当たりの共済金額は65,712円、同農家負担共済掛金は1,501円となった。

スイートコーン：引受戸数8戸、引受面積前年対比82.3%、10a当たりの共済金額は155,138円、同農家負担共済掛金は1,936円となった。

蚕繭：引受戸数18戸、引受箱数前年対比66.9%、春蚕繭1箱当たりの共済金額は68,635円、同農家負担共済掛金209円、初秋蚕繭1箱当たりの共済金額は60,719円、同農家負担共済掛金670円、晩秋蚕繭1箱当たりの共済金額は58,422円、同農家負担共済掛金421円となった。

(2) 被 害

畑作物区分		項目	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額	畑作物区分		項目	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
			人	円	%				人	円	%
大豆		半相殺・一筆方	4	192,043	2.7	蚕繭		春 蚕 繭	0	0	0.0
		全相殺方式	11	1,938,311	10.0			初 秋 蚕 繭	0	0	0.0
		計	15	2,130,354	8.0			晩 秋 蚕 繭	0	0	0.0
茶		半相殺方式	4	180,120	2.8	計		0	0	0.0	
		災害収入共済方				合 計		延実	21		
スイートコーン			2	45,378	0.5			21	2,355,852	5.2	

(被害概要)

大豆：梅雨期の6月下旬から8月中旬にかけての降雨に伴う土壌湿潤害発芽不良及び生育不良並びにハスモンヨトウ等による虫害により減収した。

茶：凍霜害により減収した。

スイートコーン：風水害及び獣害（アライグマ）により減収となった。

蚕繭：被害なし。

(3) 支 払

畑作物区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金				実支払共済金
				円	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	共済金
				円	円	円	円	円	%
大豆		半相殺・一筆方	2月16日	192,043	/	192,043	/	/	100.0
		全相殺方式	3月22日	1,938,311		1,230,789			100.0
		計		2,130,354		1,422,832			100.0
茶		半相殺方式	8月4日	180,120		160,549			100.0
		災害収入共済方							
計				180,120		160,549			100.0
スイートコーン			10月7日	45,378		45,378			100.0
蚕繭		春 蚕 繭							
		初 秋 蚕 繭							
		晩 秋 蚕 繭							
		計		0		0			
合計				2,355,852	0	1,628,759	727,093		100.0

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、病虫害防除等に使用した薬剤購入経費または鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

5 園芸施設共済関係

(1) 引 受

施設区分		項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額					合計
						特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	
ガ ラ ス	I 類	人	棟	m ²	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	II 類	121	202	144,920	1,585,589	327,901	97,037	25,472	46,917	79,224	2,162,140
ブ ラ ス チ ッ ク	I 類										
	II 類	1,973	6,432	1,217,890	3,775,569	377,922	232,580	64,882	178,155	113,428	4,742,536
	III 類	104	120	103,368	432,466	36,599	63,095	16,771	31,850	31,507	612,288
	IV類(甲)	530	720	657,626	6,191,319	938,095	770,780	216,375	196,013	333,637	8,646,219
	IV類(乙)	266	355	350,613	3,389,748	348,791	380,647	73,670	111,377	146,666	4,450,899
	V 類	85	126	77,132	706,441	164,100	81,872	29,960	15,236	36,646	1,034,255
	VI 類	23	182	29,634	83,921	2,279				656	86,856
	VII 類	204	423	758,776	331,128	16,055				15,995	363,178
合 計		3,306	8,560	3,339,959	16,496,181	2,211,742	1,626,011	427,130	579,548	757,759	22,098,371

施設区分		共 済 金 額						徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金	
		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	撤去費用				合計
ガ ラ ス	I 類	千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円	
	II 類	1,326,113	277,030	77,980	20,512	36,876	65,481	1,803,992	2,706,904	195,111	2,902,015
ブ ラ ス チ ッ ク	I 類										
	II 類	3,026,558	307,348	186,803	50,410	133,801	90,023	3,794,943	46,660,480	△5,998,939	40,661,541
	III 類	335,413	30,282	46,037	12,833	25,481	23,972	474,018	6,341,663	△1,921,392	4,420,271
	IV類(甲)	4,771,493	715,105	608,419	173,387	143,254	255,164	6,666,822	27,932,463	△6,891,366	21,041,097
	IV類(乙)	2,614,791	282,546	288,587	53,633	85,222	114,304	3,439,083	17,291,982	△3,116,917	14,175,065
	V 類	542,416	127,314	65,575	23,610	11,666	26,559	797,140	2,392,556	△38,330	2,354,226
	VI 類	65,480	1,747	0	0	0	450	67,677	1,250,333	△451,281	799,052
	VII 類	293,896	14,981	0	0	0	14,902	323,779	2,860,249	367,826	3,228,075
合 計		12,976,160	1,756,353	1,273,401	334,385	436,300	590,855	17,367,454	107,436,630	△17,855,288	89,581,342

(引受概要)

引受戸数は、3,306戸（前年対比99.1%）、引受棟数8,560棟（前年対比95.8%）、共済金額は173億6,700万余円（前年対比113.6%）で、前年度との比較では、戸数、棟数ともに減少、共済金額については標準価額の見直し等により増加となった。

(2) 被 害

施設区分		被 害			損害の額	共 済 金				共済金 共済金額	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	撤去復旧費用		合 計
ガ ラ ス	I 類	人	棟	基	円	円	円	円	円	%	
	II 類	6	6	1	2,339,691	1,159,325	97,240	305,113	310,073	1,871,751	0.10
ブ ラ ス チ ッ ク	I 類										
	II 類	70	100	7	5,390,482	3,868,617	221,379	245,861	163,570	4,499,427	0.12
	III 類	4	4	17	2,195,951	131,234	2,016,870	0	0	2,148,104	0.45
	IV類(甲)	22	25	12	6,227,153	1,088,604	2,851,354	909,896	329,662	5,179,516	0.08
	IV類(乙)	10	12	4	2,880,940	275,987	543,512	1,266,014	228,312	2,313,825	0.07
	V 類	2	4	4	186,184	0	129,833	0	19,113	148,946	0.02
	VI 類	1	2	0	37,853	30,281	0	0	0	30,281	0.04
	VII 類	5	8	0	783,150	647,354	0	0	647,354	0.20	
合 計		120	161	45	20,041,404	7,201,402	5,860,188	2,726,884	1,050,730	16,839,204	0.10

(被害及び評価概況)

被害は、自然災害等では風害、水害で106棟（令和2年12月30日の風害及び令和3年2月27日の風害の復旧費用2棟を含む。）、落雷で20棟、ひょう害で14棟、冷害で2棟となった。また、自然災害等以外では、施設内農作物の病虫害で13棟、火災で4棟、鳥獣害で1棟、車

(3) 支 払

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
16,839,204	218,074	16,621,130				100.0

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した。

6 任意共済関係

(1) 建物共済

ア 引受

区分	項目	加入棟数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 り 平 均 共 済 金 額	建 物 保 険 料	保 険 手 数 料 収 入
				純 共 済 掛 金	組 合 事 務 費			
		棟	円	円	円	円	円	円
	火 災 共 済	102,583	1,240,239,930,000	531,489,151	434,730,531	12,090,000	289,715,047	117,326,004
	総 合 共 済	10,455	72,670,630,000	128,016,840	84,696,062	6,950,000	93,857,330	29,869,732
	合 計	113,038	1,312,910,560,000	659,505,991	519,426,593	11,610,000	383,572,377	147,195,736

(注) 共済掛金総額 1,178,932,584円

保険割合 火災共済及び総合共済（地震以外）30%、総合共済（地震）50%

(引受概要)

建物共済全体の加入棟数は、113,038棟（前年対比96.8%）、共済金額1兆3,129億余円（前年対比97.3%）と前年に比べ減少したが、自然災害を対象とした総合共済の引受拡大に重点を置き推進した結果、総合共済加入棟数10,455棟（前年対比100.1%）、総合共済共済金額726億余円（前年対比103.4%）と増加した。

イ 事 故

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)		建物保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
		火 災	風 等 落 雷			
棟	円	円	円	円	%	
436	6,269,500,000	568,936,811	20,873,960	177,006,460	9.4	

(事故概況)

事故棟数は、落雷が最も多く、次いで盗難による汚毀損が多かった。事故原因別の支払共済金は、不明・調査中や漏電による支払が多かった。

ウ 原因別事故

事 故 原 因 別		事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	建物保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
火 災 (拡 張 担 保 を 含 む)	落 雷	215	3,214,700,000	47,026,702	14,107,942	1.5	
	盗 難 に よ る 汚 毀 損	48	796,100,000	3,018,152	905,437	0.4	
	類 焼	26	203,500,000	68,897,777	20,669,327	33.9	
	給 排 水 設 備	26	713,800,000	12,140,066	3,642,012	1.7	
	不 明 ・ 調 査 中	15	184,000,000	219,859,272	65,957,775	119.5	
	車 両 の 飛 び 込 み	10	113,700,000	2,333,092	699,926	2.1	
	外 部 か ら の 落 下 等	9	119,800,000	794,507	238,351	0.7	
	漏 電	8	91,700,000	92,281,762	27,684,524	100.6	
	そ の 他	22	244,900,000	122,585,481	36,775,638	50.1	
自 然 災 害	強 風	39	418,600,000	15,374,114	4,612,219	3.7	
	台 風	12	123,700,000	3,806,517	1,141,950	3.1	
	そ の 他	6	45,000,000	1,693,329	571,359	3.8	
合 計		436	6,269,500,000	589,810,771	177,006,460	9.4	

(2) 農機具損害共済
ア 引受

加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1台当り平均 共済金額
		純 共 済 掛 金	組 合 事 務 費	
台 12,107	円 24,813,120,000	円 108,072,014	円 41,081,246	円 2,050,000

(引受概要)

未加入農機具の加入推進、新調達価額に見合った共済金額の増額提案、盗難被害に備えた加入推進に努めた。加入台数は、12,107台（前年対比103.5%）共済金額24億1,312万円（前年対比105.8%）と増加した。

イ 事 故

事 故 台 数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
台 202	円 693,250,000	円 71,126,946	% 10.3	

(事故概況)

事故原因別では、稼働中の接触が最も多く、次いで異物の巻き込みが多かった。

ウ 原因別事故

事 故 原 因 別		事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
格納中	鳥 獣 害	台 4	円 15,750,000	円 904,486	% 5.7	
	盗 難 による 損	2	7,250,000	577,104	8.0	
	そ の 他	4	9,500,000	1,975,654	20.8	
稼働中	接 触	101	379,600,000	29,132,525	7.7	
	異 物 の 巻 込 み	55	163,950,000	14,580,524	8.9	
	衝 突	15	50,150,000	7,334,273	14.6	
	墜 落	10	20,700,000	5,981,880	28.9	
	そ の 他	11	46,350,000	10,640,500	23.0	
合 計		202	693,250,000	71,126,946	10.3	

(3) 保管中農産物補償共済

ア 引受

加入口数	共済金額	共 済 掛 金			1口当り平均 共済金額	保管中農産物保険料
		純 共 済 掛 金	事 務 費			
口 9	円 9,000,000	円 15,750	円 5,742	円 1,008	円 1,000,000	円 16,758

(引受概要)

洪水や浸水が想定される地域の加入推進を行なった。

イ 事 故

事故なし

ウ 原因別事故

事故なし

7 農機具更新共済関係

(1) 引受

加入台数	共済金額	減価共済金額	共 済 掛 金	
			純共済掛金	組合事務費
台 34	円 91,350,000	円 67,950,000	円 9,613,715	円 364,630

(引受概要)

共済責任期間満了となった農機具については、損害共済への加入推進を行なった。

(2) 事 故

事故台数	期間満了等台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金			被害率 (ロ)/(イ)
			火災・風水害等 (ロ)	期間満了によるもの	計	
台 2	台 17	円 2,400,000	円 315,088	円 22,950,000	円 23,265,088	% 13.1

(事故概況)

事故は、2台の接触等事故が発生した。

共済責任期間満了による減価共済金として22,950千円の支払を行なった。

8 農業経営収入保険関係

(1) 引受関係

令和4年3月31日現在

経営形態	経営体数	基準収入	補償額	納入保険料等			
				保険料	積立金	付加保険料	合計
	経営体	円	円	円	円	円	円
個人経営体	1,407	18,021,884,789	14,321,829,116	144,339,713	388,677,586	35,823,628	568,840,927
法人経営体	155	7,346,812,847	5,898,289,166	54,965,288	158,923,886	12,109,128	225,998,302
計	1,562	25,368,697,636	20,220,118,282	199,305,001	547,601,472	47,932,756	794,839,229

(2) 支払関係

経営形態	補てん金			つなぎ資金		
	経営体数	保険金	特約補てん金	合計	経営体数	借入申請金額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個人経営体	206	121,365,394	135,858,806	257,224,200	30	100,660,000
法人経営体	57	305,156,880	258,506,854	563,663,734	17	135,700,000
計	263	426,522,274	394,365,660	820,887,934	47	236,360,000

9 業務関係

(1) 重要な処理事項

年月日	処理事項	年月日	処理事項
令和3年		10月7日	内部監査(～10/28)
4月1日	辞令交付	10月19日	関東地区収入保険担当者会議
4月2日	県主催農業災害担当者会議	10月20日	収入保険推進協議会
4月16日	内部監査(～30日)	10月21日	常例検査(28日、11/4、11/11、11/17～11/19)
4月19日	茶巡回調査	10月22日	大豆巡回調査
4月23日	都道府県農業保険主管課長会議及び農業共済団体参事会議	11月1日	余裕金運用管理委員会
5月11日	余裕金運用管理委員会	11月9日	監事会、中間監査(～16日)
5月12日	関東地区参事会議	11月25日	全国NOSAI全国大会
5月17日	監事会(21日)、決算監査(～21日)、麦巡回調査(20日、28日)	11月29日	理事会
5月27日	理事会	12月2日	損害評価会果樹共済部会
6月10日	第5回通常総代会、農水省主催家畜研修会	12月9日	損害評価会農作物共済部会
6月18日	収入保険担当者研修会	令和4年	
7月1日	情報化推進会議(9/1、12/1、3/1)	1月14日	臨時総代会
7月7日	全国参事会議、果樹巡回調査	1月26日	建物・農機具共済委員会専門員会議
7月8日	農水省主催園芸施設・果樹研修会(9日)	1月28日	損害評価会家畜共済部会、診療所運営委員会
7月9日	コンプライアンス改善委員会	2月1日	土地等処分・取得適正化委員会、余裕金運用管理委員会
7月14日	農業保険外交員研修	2月3日	関東地区参事会議
7月27日	余裕金運用管理委員会	2月8日	農水省主催農作物・畑作物共済研修会
7月29日	損害評価会全体会議	2月9日	損害評価会農作物共済部会、畑作物共済第一部会(書面議決)
8月3日	内部監査(～9/22)	2月14日	理事会、監事会
8月6日	理事会、理事監事研修会	2月15日	内部監査(～3/31)
8月10日	農業技術研修会	2月16日	物品選定委員会、全国参事会議
8月25日	水稲損害評価(～10/6)	2月21日	退職給与金施設運用委員会
8月26日	収入保険及び税務研修会	3月10日	臨時総代会
9月13日	農水省主催収入保険研修会	3月14日	園芸施設共済・家畜共済事業別研修
9月30日	退職給与金施設運用委員会	3月15日	物品購入等選定委員会
10月1日	損害評価会畑作物共済第一部会(書面議決)	3月22日	理事会、コンプライアンス改善委員会
10月6日	全国参事会議	3月31日	退職辞令交付

(2) 総代会

ア 通常総代会

と き 令和3年6月10日

ところ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	189 人	出席率
本人出席 (B)	21 人	(B) / (A) 11.1 %
代理出席	0 人	
書面出席	168 人	
出席者計 (C)	189 人	(C) / (A) 100.0 %

重要な議事及び議決事項

- | | |
|--|----|
| (1) 令和2年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、
剰余金処分案及び不足金処理案について | 可決 |
| (2) 令和3年度事業計画設定並びに事務費賦課額及び徴収方法について | 可決 |
| (3) 役員報酬について | 可決 |
| (4) 損害評価会委員、共済支部長及び顧問報酬について | 可決 |
| (5) 余裕金預入先金融機関について | 可決 |
| (6) 借入金最高限度額について | 可決 |
| (7) 特別積立金の取崩しについて | 可決 |
| (8) 未収掛金等債権の損金処理について | 可決 |
| (9) 事業規程の一部改正について | 可決 |
| (10) 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員選任について | 可決 |
| (11) 事業実施体制改善計画について | 可決 |

イ-1 臨時総代会

と き 令和4年1月14日

ところ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	188 人	出席率
本人出席 (B)	9 人	(B) / (A) 4.8 %
代理出席	0 人	
書面出席	179 人	
出席者計 (C)	188 人	(C) / (A) 100.0 %

重要な議事及び議決事項

- (1) 果樹共済掛金率の設定について 可 決
 (2) 畑作物共済掛金率の設定について 可 決
 (3) 農業更新共済勘定から任意共済勘定へ積立金及び債権の一部移管
 について 可 決

イ-2 臨時総代会

と き 令和4年3月10日

と ころ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	188 人	出席率
本人出席 (B)	9 人	(B) / (A) 4.8 %
代理出席	0 人	
書面出席	179 人	
出席者計 (C)	188 人	(C) / (A) 100.0 %

重要な議事及び議決事項

- (1) 令和3年度収支予算補正について 可 決
 (2) 令和4年度家畜共済評価基準価額の設定について 可 決

(3) 組合員の増減 (人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
71,948	71,138	△810	

(4) 役職員その他

ア 役職員 (人)

役員数	理 事			監 事	合 計
	常勤 0	非常勤 21	計 21	3	24
職員数			職 員 (嘱託職員含む)	臨時・派遣	合 計
			男	137	7
	女	36	11	47	
	合 計	173	18	191	

(ア) 本所職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	参 事	監 査 室	総務部		事業第一部			事業第二部			合 計		
			部 長	総 務 経 理 課	企 画 情 報 課	部 長	収 入 保 険 課	収 穫 共 済 課	部 長	次 長		資 産 共 済 課	家 畜 診 療 所
男	1	3 (1)	1	3	3	1	5	4	1	1	6	6	34
女	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	1	2	8
計	1	3 (1)	1	6	4	1	5	5	1	1	7	8	42

()は兼務 合計欄は兼務を除く

(イ) 中部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	統 括 支 所 長	中部統括支所					東 松 山 支 所	上 尾 支 所	合 計
		次 長	総 務 課	収 入 保 険 課	収 穫 共 済 課	資 産 共 済 課			
男	1	1	(1)	4	6	8	8	7	35
女	0	0	2	1	1	1	3	2	10
計	1	1	2 (1)	5	7	9	11	9	45

()は兼務 合計欄は兼務を除く

(ウ) 北部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	統 括 支 所 長	北部統括支所					本 庄 支 所	秩 父 支 所	合 計
		次 長	総 務 課	収 入 保 険 課	収 穫 共 済 課	資 産 共 済 課			
男	1	1	2 (1)	5	6	7	8	5	34
女	0	0	1	0	1	3	2	1	8
計	1	1	3 (1)	5	7	10	10	6	42

()は兼務 合計欄は兼務を除く

(エ) 東部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	統括支所長	東部統括支所					宮代支所	越谷支所	合計
		次長	総務課	収入保険課	収穫共済課	資産共済課			
男	1	1	1 (1)	5	6	4	13	4	34
女	0	0	2	0	1	2	3	2	10
計	1	1	3 (1)	5	7	6	16	6	44

()は兼務

合計は兼務を除く

(オ) 臨時・派遣職員数

(人)

		本所	中部統括支所	東松山支所	上尾支所	北部統括支所	本庄支所	秩父支所	東部統括支所	宮代支所	越谷支所	家畜診療所	合計
臨時	男	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2	7
	女	2	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	8
派遣	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
合計		4	2	1	1	2	1	0	1	2	1	3	18

イ 総代、共済支部長、損害評価会委員、損害評価員

(人)

総代	共済支部長	損害評価会委員	損害評価員
188 (欠員1)	5,336	242	2,699